

令和6年度 学校経営計画書

岡山県立邑久高等学校

○本校のミッション(使命、存在意義)

地域との連携等による幅広い知識と教養を培う複数学科併設校として、生徒の多様な進路希望に応えるために、特色ある科目選択を設定するとともに、地域と連携した課題解決に取り組む教育活動を通して、得た資質・能力を発揮して、地域社会で活躍し、その発展に貢献する人材の育成を目指す。

○学校内外の環境分析

- 1 生徒は素朴で真面目であり、地域学、部活動、ボランティア活動などに意欲的に取り組んでいる。部活動についてはヨット部等が全国大会でも活躍している。
- 2 生徒の進路は大学等進学から就職まで多様である。また1人1台端末が導入されたこともあり、教職員共通認識のもと、より一層の授業改善や指導体制の強化が必要である。
- 3 保護者、同窓会、地域ともに本校への期待感は強く、支援体制も充実している。特に令和2年度より、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)が設置され、地域の要望に応えた、地域と連携・協働した学習活動を積極的に展開している。地元の中学校からの志願者数増加に向けて、魅力づくりをさらに推進し、それらを積極的に発信し続けていく必要がある。
- 4 地元の中学生数は減少傾向であり、近年の私立志向などがあり生徒募集に苦慮している状況である。令和6年度入試から普通科・生活ビジネス科ともに全県学区となり、旧東備学区外からの入学生の増加が見込まれる。

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン(将来像、目指す姿)

- 1 中学生に支持され、地域や保護者から信頼される魅力ある学校づくり
- 2 知・徳・体の基本を身に付け、学習を中心とした学校生活に主体的に取り組むことで自分自身の将来を切り拓いていくことができる生徒の育成
- 3 個々の生徒に真摯に向き合い、最適な教育や支援を協働して行える指導体制の強化

○令和6年度の学校経営目標・計画

- 1 学力向上…学習習慣の確立と「わかる」授業づくりへの工夫
生徒の学習意欲、興味・関心を高められるような授業デザインや課題・補習などを工夫することで、学習習慣の確立を図り、学力向上につなげる。
クロムブックの効果的活用及び協働学習の研究と実践を行い、「わかる」授業づくりをすすめる。
- 2 コミュニケーション能力の向上…地域連携教育等による協働的な体験学習の推進
探究活動(各教科、課題研究、セトリー)などを通して、マナーや社会性に加えて、表現力・協働力を育む。
インターンシップやボランティア、地域イベントへの参加など生徒が地域で学習・活動できる場を提供し、地域の企業や各種団体と連携・協働することで、コミュニケーション能力や自己肯定感を高める機会とする。
- 3 生徒支援の充実…積極的な生徒理解と援助及び生徒の活動の推進
教育相談や進路相談などを通して、個々の生徒が主体的に課題を解決し、目標をもって充実した学校生活を送れるよう支援する。
生徒が活躍できる場を与えられるよう、生徒と話し合いながら、部活動・生徒会活動や学校行事のより一層の活性化・充実を図る。